

出展事業実施報告書

作成日 令和2年2月18日

作成者 地域連携推進課

出展内容	<p>食育展示・体験コーナー</p> <p>① 「食育SATシステムを使って普段の食事内容をチェックしてみよう」</p> <p>② 「具沢山&amp;塩分控えめなおかず味噌汁で寒い冬を乗り切ろう！」 「第3回食育活動表彰」農林水産大臣賞受賞「おかず味噌汁」紹介</p>
イベント名 主催者	<p>「あおもり食育推進大会 2020」 青森県農林水産部食の安全・安心推進課</p>
出展実施日時	<p>令和2年2月15日（土）11：00～12：20 （イベント全体 11:00～15:00）</p>
場所	<p>東奥日報新町ビル New's 3階ホール</p>
出展担当者	<p>栄養学科 教員2名 准教授 鹿内 彩子、准教授 大野 智子 栄養学科 学生8名</p>
参加者・人数	<p>① 約50名 ② 約100名</p>
実施概要	<p>「あおもり食育推進大会 2020」は、県民の食育実践向上を図るため開催されたものである。本学は、栄養学科教員による企画として、①「食育SATシステム」を使った体験型ブースの出展と②「おかず味噌汁」の試食提供を行った。</p> <p>① 「食育SATシステム」の出展について</p> <p>実物大フードモデルを選んでセンサーボックスに載せると1食分の食事バランスを確認することができるものであり、イベントの参加者である一般の方々に同システムを体験してもらうことにより、自身の日頃の食生活における栄養バランスの見直しや、食事内容の改善へのきっかけ作りとなることをねらいとし、出展を企画したものである。</p> <p>イベント当日は、料理や食品のモデルが並んでいて興味を持って訪れてくれる方が多く、眺めている方でも、声がけすると参加して下さった方もいらっしゃった。比較的、年配の方も多かったが、食に関する意識が高く、関心のある方が多かった。</p> <p>手伝った学生からは、「食に関心のある方に対して結果からアドバイスをすることの難しさを実感した。」、「ロールプレイなどの練習ではなく、実際の人に対して食や栄養の話をする実践の場となった。」、「自分たちの知識や技術等の不足部分の分かり、補わなければならないと実感した。」、「アドバイスしたことに対して、明日から取り入れてみますなど反応して下さることに対して、うれしさとともに責任も感じた。」といった声が聞かれ、将来の専門職としての良い学びにつながった様子であった。</p>

	<p>② 「おかず味噌汁」の試食提供について</p> <p>「シチューみたいな豆乳味噌汁」を試食した来場者からは、「減塩を心がけているので家庭でも実践したい。」、「レシピをいただいたので家庭でも作ってみたい。」、「豆乳は苦手であったが味噌汁に入れると飲みやすいことがわかった。」、「ウイナーソーセージを鶏肉に変えて家庭でも作ってみたい。」、「ウイナーソーセージがもう少し大きい方が食べやすい。」、「さつまいもが入っていておいしい。」、「キムチを入れてもおいしそう。」、「家族の男性陣は新しい料理や減塩料理に消極的だが、勧めてみたい。」等、様々な感想やアイデアなどが聞かれた。</p> <p>手伝った学生からは、「来場者の皆様が「おいしい」と言ってくれてよかった。」、「適正な食塩濃度の理解につながる活動ができてよかった。」、「具材のアドバイスをいただくなど生の声を聴くことができ今後の参考になった。」、「学内外に向けてこの活動を続けていきたい。」など、喜びや活動継続への意欲などの声が聞かれ、良い体験につながった様子であった。</p>
<p>特記事項</p>	<p>イベントでは、「お楽しみ抽選会」も行われた。本学からは、大学オリジナル製作の「毎日ヘルスリテラシーカレンダー」等を詰め合わせたセットを各1名、合計5名様に提供した。</p>
<p>当日の様子</p>	<div data-bbox="651 1061 1238 1498" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="692 1514 1155 1547">食育 SAT でフードモデルを選ぶ様子</p> <div data-bbox="651 1563 1238 2000" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="756 2022 1091 2056">おかず味噌汁の試食の様子</p>